別記様式第２号（第９条関係）

No.　　/

普通階・無窓階算定書

防火対象物名称＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　年　　月　　日

（　　階）　　算定者氏名

床面積（A）	基準床面積（A／30）	有効開口部面積合計	算定結果	※消防機関判定
㎡	㎡	㎡	普　・　無	普　・　無

開口部位置	建具記号	開口部種別	床からの高さ（m）	幅（m）×高さ（m）×所在数	開口部面積小計（㎡）	備考

備　考

1　算定は，階ごと（仕切壁等で相互に往来できない場合はその部分ごと）に行ってください。
2　数値は，その都度小数点第３位以下を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。
3　有効開口部とは，消防法施行規則第５条の３に規定する避難上又は消火活動上有効な開口部のことをいいます。
4　普通階又は無窓階の判定に足りる有効開口部について記入してください。
5　直径１メートル以上の円が内接することができる開口部又は幅７５センチメートル以上高さ１．２メートル以上の開口部については，その建具記号を○で囲んでください。
6　開口部種別には，ガラスの種別及び開口部形状の種別を記入してください。（例　複層ガラスＦＩＸ等）
7　床面からの高さは，床面から開口部下端までの高さを記入してください。
8　配置図，建具配置図及び建具表を添付し，算定した有効開口部を朱色で表示してください。
9　※印の欄は，記入しないでください。